

2020年10月入学・2021年4月入学

広島大学大学院人間社会科学研究科（博士課程前期）

学生募集要項

人文社会科学専攻

人間総合科学プログラム

- ◆一般選抜
- ◆社会人特別選抜
- ◆フェニックス特別選抜

2020年67月



広島大学

人間社会科学研究科アドミッション・ポリシー

【博士課程前期】

人間社会科学研究科では、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

- ① 幅広い教養とともに、人文科学、社会科学や教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」としての平和科学の創生を目指す人
- ② 幅広い教養とともに、人文科学、社会科学や教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、現在の人類社会が抱える課題、あるいは今後抱えるかもしれない課題にチャレンジすることにより、多様性を育む自由で平和な国際社会の構築に貢献しようとする意欲を持つ人

人文社会科学専攻アドミッション・ポリシー

【博士課程前期】

人文社会科学専攻では、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

- ① 幅広い教養とともに、人文科学や社会科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」としての平和科学の創生を目指す人
- ② 幅広い教養とともに、人文科学や社会科学、及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、現在の人類社会が抱える課題、あるいは今後抱えるかもしれない課題にチャレンジすることにより、多様性を育む自由で平和な国際社会の構築に貢献しようとする意欲を持つ人

2020年10月及び2021年4月に本学大学院人間社会科学研究科（博士課程前期）人文社会科学専攻人間総合科学プログラムに入学する学生を次のとおり募集します。

新型コロナウイルス感染症の影響により、今後、試験期日や選抜方法が変更される可能性があります。変更内容については本学ホームページ等で公表します。

I 募集人員

2020年10月入学生

プログラム	選抜の区分	募集人員
人間総合科学プログラム	一般選抜	若干名
	社会人特別選抜	
	フェニックス特別選抜	

2021年4月入学生

プログラム	選抜の区分	募集人員
人間総合科学プログラム	一般選抜	20名
	社会人特別選抜	若干名
	フェニックス特別選抜	若干名

II プログラムのアドミッション・ポリシー及び入試日程

【人間総合科学プログラム 博士課程前期】

人間総合科学プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

- ① 文系理系の枠組みや狭い個別分野にとらわれず、新しい学問に触れ、かつ新しい知の領域を創造したいと思う人
- ② 輻輳する現実社会を直視し、そこから自分で独自の課題を発見し、その背景を理解するとともに課題解決の道を明らかにしたいと思う人
- ③ 国、地域、社会等の枠を超え、異文化や他者に寛容な姿勢を持ち、自分の意見を表明する能力を身に付けたいと思う人

新型コロナウイルス感染症の影響により、選抜方法を変更しました。

入試日程

一般選抜

期 日	試 験 区 分	時 間
8月24日(月)	筆 記 試 験 (専 門 科 目)	10:00~12:00
8月25日(火)	口 述 試 験 (1人当たり概ね3040分)	9:00~

社会人特別選抜

フェニックス特別選抜

期 日	試 験 区 分	時 間
8月25日(火)	口 述 試 験 (1人当たり概ね30分)	9:00~

(注意) 志願者は、必ず出願前に、志望する主指導教員と研究内容等について相談をしておいてください。

なお、募集する指導教員が異動等により変更になることがあります。その場合には、人間社会科学研究所ホームページに掲載しますので、相談前にあらかじめ確認しておいてください。

Ⅲ 出願資格

各選抜の出願資格は、次のとおりです。

一般選抜	出願資格(9)、(10)及び(11)により出願しようとする者は、出願資格の審査を行いますので「Ⅳ 出願資格事前審査」の項を参照してください。
------	--

次の各号のいずれかに該当する者、あるいは入学日までに該当する見込みの者

- (1) 日本の大学を卒業した者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号。以下「法」という。)第104条第7項の規定により独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号:旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令、独立行政法人個別法による大学校を卒業した者等)
- (9) 法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、その後に入学者を本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの(他大学院へ飛び入学した学生が本研究科の受験を希望する場合)
- (10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者であって、22歳に達したもの
- (11) 大学に3年以上在学した者(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)であって、本学大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの

社会人特別選抜	出願資格(9)及び(10)により出願しようとする者は、出願資格の審査を行いますので「Ⅳ 出願資格事前審査」の項を参照してください。
---------	---

本研究科入学時において、2年以上の職歴若しくはその他の社会経験を有する者で、次のいずれかに該当する者、あるいは入学日までに該当する見込みの者

- (1) 日本の大学を卒業した者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号。以下「法」という。)第104条第7項の規定により独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定

- するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号:旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令,独立行政法人個別法による大学校を卒業した者等)
- (9) 法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、その後に入学させる本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
(他大学院へ飛び入学した学生が本研究科の受験を希望する場合)
- (10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者であって、24歳に達したもの

フェニックス 特別選抜	出願資格(9)、(10)及び(11)により出願しようとする者は、出願資格の審査を行いますので「IV 出願資格事前審査」の項を参照してください。
----------------	---

学位取得を目指し、入学日現在満55歳以上の者で、次のいずれかに該当する者、あるいは入学日までに該当する見込みの者

- (1) 日本の大学を卒業した者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号。以下「法」という。)第104条第7項の規定により独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号:旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令,独立行政法人個別法による大学校を卒業した者等)
- (9) 法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、その後に入学させる本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
(他大学院へ飛び入学した学生が本研究科の受験を希望する場合)
- (10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者であって、55歳に達したもの
- (11) 大学に3年以上在学した者(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)であって、本学大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの

IV 出願資格事前審査

一般選抜、社会人特別選抜及びフェニックス特別選抜の出願資格事前審査対象者は、次の書類を2020年6月22日(月)から6月26日(金)17時まで(必着)に願書受付場所(V 1. 出願手続(3)参照)に提出し、指示を受けてください。郵送の場合は書留郵便とし、封筒表面に「人間社会科学研究科出願資格事前審査申請書在中」と朱書してください。

認定審査の結果は、2020年7月16日(木)までに本人あて通知します。

- (1) 出願資格(9)により出願しようとする者
 - ① 出願資格事前審査申請書(用紙は願書受付場所に請求してください。)
 - ② 大学院の在学証明書又は修了証明書
 - ③ 在学していた大学の成績証明書
 - ④ 本人の住所氏名を明記した封筒(長形3号に84円分の切手を貼ったもの。)
- (2) 出願資格(10)により出願しようとする者(短期大学、高等専門学校、各種学校等の卒業生やその他の教育施設の修了者が該当します。)
 - ① 出願資格事前審査申請書(用紙は願書受付場所に請求してください。)
 - ② 最終学歴証明書※
 - ③ 最終学歴の成績証明書、又はこれに準ずるもの
 - ④ 各種資格試験の合格通知書・資格の内容を説明する書類、論文・レポート、その他の業績、又はこれに代わるもの
 - ⑤ 本人の住所氏名を明記した封筒(長形3号に84円分の切手を貼ったもの。)

※最終学歴証明書について

中国(台湾、香港、マカオを除く)の大学の卒業生は、“毕业证书”の本紙又は原本証明された写しを提出してください。併せて、中国教育部認定システム(中国高等教育学历证书查询 <http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>)により学歴證書電子登録票(教育部学历证书电子注册备案表)の書類を取得し、提出してください。なお、発行手数料は志願者負担となります。学歴證書電子登録票(教育部学历证书电子注册备案表)は、Web 認証が2020年7月10日(金)時点で有効であることを確認してください。

- (3) 出願資格(11)により出願しようとする者(大学2年次までの修得単位が100単位以上で、その成績の9割以上を「優」以上の評価で取得した者が該当します。)**※社会人特別選抜を除く。**
 - ① 出願資格事前審査申請書(用紙は願書受付場所に請求してください。)
 - ② 成績証明書又は単位修得見込証明書
 - ③ 指導教員又はこれに準ずる者の推薦書
(当該志願者が特に優秀であることを示す具体的な事実を記載したもの。)
 - ④ 在学する大学・学部の履修基準、授業科目一覧表等
 - ⑤ 本人の住所氏名を明記した封筒(長形3号に84円分の切手を貼ったもの。)

上記(3)の該当者として入学した場合、大学に3年以上在学し早期卒業しない者は、学部学生としての学籍上の取扱いは退学となります。

従って、各種国家試験等の受験資格で、大学の学部卒業が要件になっているものについては受験資格がなくなりますので、十分注意してください。

V 出願手続

1. 出願方法

出願者は、志望する指導教員に事前に了解を得た上、以下の方法により、出願してください。

インターネット出願

- ① インターネットにより、志望情報等を入力する。
- ② 入学検定料30,000円を支払う。
- ③ 出願書類を持参又は郵送する。

(注意) インターネット出願は、インターネットでの入力及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりません。別途、出願書類等が所定の期日までに到着するように持参又は郵送する必要があります。なお、本研究科では、持参のみによる出願はできません。

(1) 出願期間

上記1. 出願方法 の①, ②, ③の全てを期間内に終える必要があります。

2020年7月17日(金) から2020年7月27日(月) 17:00まで(必着)

(2) インターネット出願

◆システムに関する問合せ先

インターネット出願ヘルプデスク(日本語対応のみ)

受付時間: 10:00から18:00まで(4月~7月末日までの土・日・祝日を除く)

電話番号: 0570-06-5124

UCARO事務局(日本語対応のみ)

受付時間: 10:00から18:00まで(12月30日~1月3日を除く)

電話番号: 0570-06-5524

○入試に関する不明点等は、総合科学系支援室(人間社会科学研究所人間総合科学プログラム担当)に問い合わせてください。

受付時間 8:30から17:00まで(土日祝日を除く)

*電話番号については、市外局番が同じ地域がありますが、以下の地域については、市外局番からダイヤルしていただく必要がありますのでご注意ください。

(広島市, 安芸郡府中町, 海田町, 熊野町及び坂町の各地域)

出願期間内に、次の8つのステップを完了してください。

Step 1: インターネット出願システムにアクセスする

アクセスページ

広島大学入試情報

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi>



Step 2: UCAROログイン画面から「UCARO会員登録」を選択

出願には「UCARO」への会員登録(無料)が必須です。

本学では、受験番号の確認及び合格した場合の入学手続の一部をUCAROで行います。UCAROについては、以下のURLを参照してください。

<https://www.ucaro.net/>

Step 3-1: (必要な入試区分のみ該当) アカウントを入力

入学検定料免除の特例による出願の場合のみ、入力前に総合科学系支援室（人間社会科学研究科人間総合科学プログラム担当）に問い合わせた後に、本研究科から通知する8桁以上の英数字を入力してください。

Step3-2: インターネット出願システムに志望情報等を入力

画面上の指示に従って、氏名、住所等を入力してください。

Step 4: 写真をアップロード

デジタル写真（ファイル形式等：JPEG）を画面の案内に従ってアップロードしてください。郵送での提出はできません。

Step 5: 入学検定料（30,000円）の支払い

「決算情報を入力」の画面で、次の中から支払方法を選択してください。

1. クレジットカード：Credit Cards: VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club
2. コンビニエンスストア：セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、セイコーマート
3. 金融機関 ATM 【Pay-easy】
4. ネットバンキング

(注意)

- ・入学検定料の他に、1回の出願ごとに必要なインターネット出願システム手数料 500 円は、志願者負担となります。
- ・出願受付後はいかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還しません。

なお、次の (1)、(2) の場合は、既納の入学検定料から振込手数料を差し引いて返還します。本学から検定料返還のための「返還請求書」を郵送しますので、「出願番号」、「ふりがな」、「氏名」、「電話番号」、「住所」、「振込先」及び「返還請求の理由」等を記入・押印の上、2021年2月26日（金）までに総合科学系支援室（人間社会科学研究科人間総合科学プログラム担当）に郵送してください。

ただし、いずれの場合もインターネット出願の手数料は返還対象外です。

- (1) 出願書類を提出しなかった、又は受付されなかった場合
- (2) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

Step 6: 出願情報の登録完了

出願番号 (6桁) が表示されるので、メモしておいてください。

Step 7: 出願書類の持参又は郵送

提出又は送付先は、総合科学系支援室（人間社会科学研究科人間総合科学プログラム担当）です。

出願書類を持参する場合は、出願期間の8:30から17:00まで受け付けます。ただし、土曜日、日曜日及び祭日は受け付けません。

郵送の場合は、書留とし、7月27日（月）必着としますが、これ以降に到着した場合は、7月25日（土）までの消印があるものに限り受理します。

また、封筒表面に「大学院人間社会科学研究科人間総合科学プログラム願書在中」と朱書きしてください。

(3) 出願書類の提出先

(人間社会科学研究科人間総合科学プログラム担当)

〒739-8521

広島県東広島市鏡山一丁目7番1号

広島大学総合科学系支援室（大学院課程担当） (Tel 082-424-6318)

(4) その他

- ① 出願書類受理後は、記載内容の変更は一切認めません。
- ② 出願書類は返還しません。
- ③ 合格後あるいは入学後、提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合、合格・入学を取り消します。
- ④ 卒業見込みで出願して合格した者が、入学日までに卒業できなかった場合、入学資格がないものとみなされます。
- ⑤ 気象等の影響で試験日時を変更する場合は、ホームページで発表します。

2. 出願書類等

ア	履 歴 書	交付の用紙を使用してください。
イ	※ 成績証明書	出身大学（学部）長，短期大学長又は高等専門学校長が作成したもの。必ず原本か，原本証明された写しを提出してください。原本証明のない写しは証明書として認められません。
ウ	※ 卒業（見込）証明書	<p>出身大学（学部）長，短期大学長又は高等専門学校長が作成したもの。必ず原本か，原本証明された写しを提出してください。原本証明のない写しは証明書として認められません。</p> <p>卒業者の場合，学位情報が記載されていることを確認してください。</p> <p>中国(台湾、香港、マカオを除く)の大学を卒業(見込み)の方は，中国教育部認証システム(中国高等教育学历证书查询 http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp)により以下の書類を取得し，併せて提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業者・學歷證書電子登録票(教育部学历证书电子注册备案表) ・卒業見込み者・オンライン在籍認証レポート(教育部学籍在线验证报告) <p>これらの書類は，2020年8月11日(火)時点で有効であることを確認してください。</p> <p>なお，発行手数料は志願者負担となります。</p> <p>また，卒業者は，“毕业证书”及び“学士学位证书”の本紙又は原本証明された写しを卒業証明書に加えて提出してください。</p> <p>大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された方は，同機構が発行する「学士の学位授与証明書」の原本又は原本証明された写しを併せて提出してください。また，同機構に学士の学位授与申請をする予定の方は，短期大学長又は高等専門学校長が発行する「学士授与申請(予定)証明書」の原本又は原本証明された写しを提出してください。</p>
エ	卒 業 論 文	<p>卒業論文を提出してください。</p> <p>卒業見込みの者で卒業論文を作成中の場合は，交付の用紙を使用し，卒業論文概要を2，000字程度で記載してください。</p> <p>卒業論文又は卒業論文概要を提出できない場合には，研究能力を証明する研究論文等を提出してください。</p> <p>いずれも提出できない場合は，オを参照してください。</p>

オ	研究計画書	<p>一般選抜で受験する場合に提出してください。</p> <p>交付の用紙を使用し、従来の研究内容及び大学院入学後の研究計画を2,000字程度で記載してください。</p> <p>なお、エを提出できない場合は、その理由も記載してください。</p>
	志望理由書	<p>社会人特別選抜、フェニックス特別選抜で受験する場合に提出してください。</p> <p>交付の用紙を使用し、2,000字程度で記載してください。</p> <p>なお、エを提出できない場合は、その理由も記載してください。</p>
カ	共通課題	<p>一般選抜で受験する場合に提出してください。</p> <p>交付の用紙を使用し、現代社会の課題は何か、及び、それを解決するための学際的・総合的研究をどのように構想するかについて、オで記載した研究計画と関連させて専門外の人にもわかるように、1,500字程度で記載してください。</p> <p>なお、社会人特別選抜及びフェニックス特別選抜で受験する場合は、提出不要です。</p>
キ	英語能力検定試験又は日本語能力検定試験のスコア証明書等	<p>一般選抜で受験する場合に提出してください。</p> <p>1～4いずれかの英語能力検定試験又は5の日本語能力検定試験のスコア証明書等の原本を提出してください。(インターネットにより出力されたものは不可。)スコア証明書等は、後日返却します。</p> <p>2017年4月1日以降に受験したものに限り。(*)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. TOEIC®公開テスト又は TOEIC®団体特別受験制度 (IP テスト) 2. TOEFL® - PBT 3. TOEFL® - iBT 4. 実用英語技能検定 5. 日本語能力試験1級 (N1) (日本語を母語としない者のみ利用可) <p>また、英語・日本語以外の外国語の検定試験を受験している場合には、1～5いずれかのスコア証明書等に加えて、当該外国語の検定試験のスコア証明書等を提出することができます。どの外国語で受験するか、志望する指導教員と相談した上で提出してください。</p> <p>*新型コロナウイルスの影響こともない外国語の検定試験が中止されていることにより、いずれのスコア証明書等も提出できない志願者は、事前に相談してください。</p> <p>事前相談の時期：令和2年6月26日(金)まで</p> <p>なお、社会人特別選抜及びフェニックス特別選抜で受験する場合は、提出不要です。</p>
ク	入学試験出願資格審査合格通知書	<p>本学大学院人間社会科学研究科長が発行したもの。</p> <p>(出願資格事前審査を受けた者のみ提出してください。)</p>
ケ	返信用定形封筒	<p>定形封筒(長形3号)に、本人の住所氏名を明記し、94円分の切手を貼ったもの。住所氏名は市町村に届け出ている住民票と一致させてください。</p>
コ	在留カードの写し	<p>日本在住の外国籍の志願者のみ提出してください。</p> <p>裏面に住所が記載されている場合は、両面をコピーしてください。</p>

備考：1. ※印のついた提出書類については、日本語、英語以外の言語で作成されたものは、原本と英語又は日本語で訳したものを両方を提出してください。

2. 前号イ、ウの書類を提出できない特別の事情がある場合は、これに代わる適当な書類を提出してください。
3. 出願資格(9), (10), (11)により出願する者は、前号イ、ウを提出する必要はありません。
4. 外国人の社会人特別選抜又はフェニックス特別選抜の志願者で、TOEFL®、TOEIC®等の英語検定試験又は日本語能力試験を受験している場合は、その成績証明書を併せて提出してください。

3. 受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害のある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、次の事項を記載した申請書（様式は定まません。）を願書受付場所（V 1. 出願手続(3)参照）に提出し、相談してください。

ア. 相談の時期 2020年6月26日（金）まで

イ. 申請書の記載内容

- ① 志願者の氏名、住所（連絡先電話番号も記載してください。）
- ② 出身大学名及び志望する指導教員名
- ③ 障害等の種類・程度（障害者手帳のコピー又は医師の診断書を添付してください。）
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 出身大学等でとられていた特別措置
- ⑦ 日常生活の状況

VI 入学者選抜方法

新型コロナウイルス感染症の影響により、選抜方法を変更しました。

一般選抜

学力検査（~~筆記試験~~、口述試験）、外国語能力、成績証明書、卒業論文等、研究計画書及び共通課題を総合評価して選考します。

~~(1) 筆記試験（配点 200点）~~

科 目 名	内 容
専 門 科 目	志望する専門領域に関する問題を出題します。専門領域によっては、外国語能力を問う問題を出題する場合があります。

~~(2) (1) 口述試験（配点 100300点）~~

本年度は、skype等で実施します。詳細については、願書受付後に指示しますが、受験者は、以下の機器を自宅等の個室に設置してください。

- ・ビデオ通話が可能なカメラ付きパソコン、タブレット又はスマートフォンを用意し、口述試験の実施場所でSkype等の実行に必要なインターネット接続環境を確保してください。
- ・インターネットの安定的な接続が確保されない場合に備えて、タブレット、スマートフォン又は携帯電話等の代替的な連絡手段を用意してください。

~~詳細については、試験当日指示します。~~

口述試験では、大学院入学への動機と意欲、研究の基礎知識等を段階評価します。外国語能力について問う場合もあります。

(3) (2) 外国語能力 (配点 100点)

英語能力検定試験又は日本語能力検定試験のスコア証明書等を利用します。

社会人特別選抜 フェニックス特別選抜

学力検査 (口述試験)、成績証明書、卒業論文等及び志望理由書を総合評価して選考します。

口述試験

本年度は、skype 等で実施します。詳細については、願書受付後に指示しますが、受験者は、以下の機器を自宅等の個室に設置してください。

- ・ビデオ通話が可能なカメラ付きパソコン、タブレット又はスマートフォンを用意し、口述試験の実施場所で Skype 等の実行に必要なインターネット接続環境を確保してください。
- ・インターネットの安定的な接続が確保されない場合に備えて、タブレット、スマートフォン又は携帯電話等の代替的な連絡手段を用意してください。

~~詳細については、試験当日指示します。~~

口述試験では、大学院入学への動機と意欲、研究の基礎知識等を段階評価します。

VII 合格者発表

2020年9月4日 (金) 12時の予定

試験場に掲示するとともに合格者に通知します。なお、電話等による照会には応じません。

また、下記人間社会科学研究科ホームページにおいても9月4日 (金) 12時から9月10日 (木) 12時まで合格者の受験番号を掲載します。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/gshs>

VIII 入学に要する経費

納付金

入学科 282,000円

授業料 (年額) 535,800円 (前期分267,900円)

- ① 既納の入学科は、いかなる理由があっても返還しません。
- ② 上記記載の金額は2020年4月現在のものです。入学時及び在学中に納付金の改定が行われた場合には、改定後の納付金を納入することになります。
- ③ 2020年10月入学の場合は2020年9月中旬に、2021年4月入学の場合は2021年3月中旬の指定する期間に入学手続を行うこととなりますが、詳細については別途お知らせします。

IX 教育方法の特例

入学後も社会人として在職のまま修学する者に対しては、社会人としての職務の遂行と本研究科での履修の両立ができるように、大学院設置基準第14条の特例に基づく制度を設けています。

本研究科での特例措置による履修方法は、一部の授業科目について、夜間、土曜日、夏季・冬季休業期間等に行うほか、情報ネットワーク等を利用することにより履修を認めるものです。履修計画については、指導教員の指導のもとに作成することになります。

X 長期履修学生制度

次のいずれかに該当する者を対象として、標準の修業年限を超えて一定の期間にわたり、計画的に教育課

程を履修して課程を修了することができる制度があります。

- ① 職業を有し、かつ、就業している者（アルバイトとして就業する者を含む。）で、学修時間の確保が著しく困難である者
- ② 家庭において家事、育児及び介護を行う者で、学修時間の確保が著しく困難である者
- ③ 本学フェニックス入学制度により入学した者

この制度による授業料は、標準の修業年限分の授業料総額を計画的に履修することを認められた一定の期間の年数で分割して納めることとなります。

XI 出願に伴う個人情報の取扱い

出願書類等に記載された個人情報（氏名、生年月日、性別、その他の個人情報等）は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。合格者の入学後は、学生支援関係（奨学金申請、授業料免除申請等）業務を行う目的をもって本学が管理します。なお、合格者の英語能力検定試験のスコア証明書等は、入学者の入学後の外国語能力向上を測定するための基礎資料として利用します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

XII 試験成績（個人情報）の開示・申請

研究科が保有する個人に関する入試情報の開示は、人間社会科学研究科の入学試験を受験した本人に限り申請することができます。

なお、開示申請の方法については、総合科学系支援室（人間社会科学研究科人間総合科学プログラム担当）へ問い合わせてください。

XIII 学生宿舎

学生宿舎の入居者募集については、学生宿舎ホームページをご覧ください。

学生宿舎ホームページアドレス

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyugaku/shien/jyuukyo>

学生宿舎についての問合せ先

広島大学教育室教育部学生生活支援グループ（TEL：082-424-6141）

XIV 注意事項

- (1) 志願者は、担当教員一覧表又は本研究科ホームページを参照し、応募する前に希望する担当教員に E-Mail か電話その他で連絡の上、希望研究内容等について相談してください。ただし、事前相談はあくまでも本研究科からの情報提供という性格のものであり、これが選考過程に影響することはありません。

ホームページアドレス

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/gshs>

- (2) 受験について不明な点があれば、下記へ問い合わせてください。

<照会先>

（人間社会科学研究科人間総合科学プログラム担当）

〒739-8521

広島県東広島市鏡山一丁目7番1号
広島大学総合科学系支援室（大学院課程担当）（Tel 082-424-6318）
E-mail souka-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

(3) 広島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人広島大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。それにより、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

XV その他

広島大学は、2020年1月からキャンパス内全面禁煙となっています。

広島大学志願者への入学検定料の免除措置について

広島大学では、被災者の経済的負担を軽減し、志願者の進学機会の確保を図るため、2020年度に実施する本学の入学者選抜において、入学検定料の免除措置を実施することとしましたので、お知らせします。

入学検定料の免除を希望される方は、出願前に必ずご連絡ください。

1 免除措置の対象となる入学者選抜

2020年度に実施する大学院入試（再入学、転学及び編入学に係る選考を含みます。）

2 措置内容

入学検定料の免除

※入学試験成績の開示に係る手数料も、免除の対象となります。

3 免除の対象となる災害

(1) 2016年熊本県熊本地方の地震

(2) 2018年7月豪雨による災害

(3) 2019年8月28日以降に災害救助法の適用を受けた災害

※ 入学検定料の免除の対象となる入学者選抜は、当該災害救助法適用日から5年を経過する日までの間に、出願期間の最終日が設定されているものに限り、適用されます。

4 免除の対象者

「3 免除の対象となる災害」において災害救助法が適用されている地域(注)で被災した志願者で、次のいずれかに該当する方

(1) 主たる学資負担者が居住する自宅家屋が全壊、大規模半壊又は半壊した場合

(2) 主たる学資負担者が死亡又は行方不明の場合

(注) 災害救助法適用地域等は、次の内閣府ホームページでご確認いただけます。

http://www.bousai.go.jp/taisaku/kyuujo/kyuujo_tekiyou.html

5 申請方法

事前に「8 問い合わせ先」に連絡した後、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

なお、この場合は、出願時に「入学検定料」を払い込まないでください。

6 申請書類

(1) 検定料免除申請書（本学ホームページからダウンロード）

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi/news/1058>

(2) 被災証明書（写し可）（上記4の(1)に該当する方）

(3) 死亡又は行方不明を証明する書類（写し可）（上記4の(2)に該当する方）

7 インターネット出願における入学検定料免除特例措置の手続方法

本学ホームページ掲載のPDFファイルを参照してください。

https://www.hiroshima-u.ac.jp/system/files/130094/menjo_r2.pdf

8 問い合わせ先

（人間社会科学研究科人間総合科学プログラム担当）

〒739-8521

広島県東広島市鏡山一丁目7番1号

広島大学総合科学系支援室（大学院課程担当）（Tel 082-424-6318）

E-mail souka-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

人間社会科学研究科人文社会科学専攻主指導教員一覧表
Graduate School of Humanities and Social Sciences
Division of Humanities and Social Sciences Lists of Academic Supervisors

人間総合科学プログラム Integrated Arts and Human Sciences Program

2020年5月1日現在 May 1, 2020

プロジェクト Project	専門分野 Research Theme	職名・氏名 Position・Name
心身と言語研究プロジェクト Human Mind, Body, and Language Research Project	人間の不適応行動の解明と感情・行動の制御に関する基礎的研究 Research in mechanism of maladaptive behavior and controls of emotion and behavior in human	教授 岩永 誠 Prof. IWANAGA Makoto
	人間の集団内および集団間行動に関する研究 Social Psychology, Group Dynamics	教授 坂田 桐子 Prof. SAKATA Kiriko
	学習を中心とした生理心理学的な脳と行動の研究 Temporal discrimination learning and hippocampal functions	教授 坂田 省吾 Prof. SAKATA Shogo
	人間の睡眠と覚醒に関する研究 Sleep Psychology: Human sleep and wakefulness	教授 林 光緒 Prof. HAYASHI Mitsuo
	身体運動心理学 Psychology of Human Movement	教授 関矢 寛史 Prof. SEKIYA Hiroshi
	運動時における体温調節機構に関する研究 Exercise and Environmental Physiology	教授 長谷川 博 Prof. HASEGAWA Hiroshi
	ヒトの運動制御機構に関する研究 Neuroscience study of human motor control	教授 船瀬 広三 Prof. FUNASE Kozo
	運動に伴う骨格筋の機能および構造の変化 Physiology and biochemistry of muscle	教授 和田 正信 Prof. WADA Masanobu
	フランス語学, 言語学 Linguistics, French Linguistics	教授 井口 容子 Prof. IGUCHI Yoko
	現代英語の文法と語法, コーパス言語学, 辞書学 English Grammar and Usage, Corpus Linguistics, Lexicography	教授 井上 永幸 Prof. INOUE Nagayuki
	第二言語習得, 外国語学習・教育に関する研究, World Englishes, 国際語 / リンガフランカとしての英語 Second language acquisition, Research on foreign language learning/education, World Englishes, English as an international language/a lingua franca	教授 柴田 美紀 Prof. SHIBATA Miki
	CALL, TELL, ドイツ語教育 Computer-Assisted Language Learning, Technology-Enhanced Language Learning, German Language Education	教授 岩崎 克己 Prof. IWASAKI Katsumi
	認知行動科学 Cognitive and Behavioral Science	准教授 有賀 敦紀 Assoc.Prof. ARIGA Atsunori
	脳波を用いた睡眠中の脳活動研究 Cognitive neuroscience during wakefulness and sleep	准教授 小川 景子 Assoc.Prof. OGAWA Keiko
	社会生態学的アプローチ, 感情と意思決定に関する研究 socio-ecological psychology, emotions in decision making	准教授 小宮 あすか Assoc.Prof. KOMIYA Asuka
	不安の発生と解消に関する実験臨床心理学的研究 Psychopathology and treatment of anxiety and related disorders.	准教授 杉浦 義典 Assoc.Prof. SUGIURA Yoshinori
	体育哲学・スポーツ哲学(主に古代ギリシアにおけるギムナステイケー論および運動競技論, 身体論) Philosophy of physical education and philosophy of sports (focussing on thought of physical education, sports, and body in ancient Greece)	准教授 上泉 康樹 Assoc.Prof. UWAIZUMI Kouki
	スポーツ栄養, 生体リズムに関する研究 Exercise and Nutrition, Chrono-nutrition	准教授 緒形 ひとみ Assoc.Prof. OGATA Hitomi
	スポーツバイオメカニクス, 姿勢制御, 運動の自動計測システム Sports biomechanics "Human motor control of posture and gait	准教授 進矢 正宏 Assoc.Prof. SHINYA Masahiro
	リハビリテーション科学 Rehabilitation science	准教授 田中 亮 Assoc.Prof. TANAKA Ryo
	中国語学, 音声学, 言語学 Chinese linguistics, phonology, linguistics	准教授 大嶋 広美 Assoc.Prof. OSHIMA Hiromi
	応用言語学 Applied Linguistics	准教授 CLENTON Jonathan Stuart Michael Assoc.Prof. Jonathan Stuart Michael CLENTON
	語用論, 英作文, 心理言語学 Pragmatics, English Academic Writing, Psycholinguistics	准教授 TAFERNER Robert Horst Assoc.Prof. Robert Horst TAFERNER
認知言語学 Cognitive Linguistics, 英語学 English Linguistics, 日本語学 Japanese Linguistics	准教授 町田 章 Assoc.Prof. MACHIDA Akira	
音声学, 音韻論 Phonetics, Phonology	准教授 山根 典子 Assoc.Prof. YAMANE Noriko	

プロジェクト Project	専門分野 Research Theme	職名・氏名 Position・Name
地域と文化研究プロジェクト Area and Culture Research Project	美学芸術学、感性哲学、感性文化史、文化創造論、風景美学、18世紀アイルランド・イギリス思想史 Aesthetics, History of KANSEI-Culture, Landscape Aesthetics, 18th Century Irish and British History of Thought	教授 桑島 秀樹 Prof. KUWAJIMA Hideki
	文化哲学、芸術哲学、プラトンのミメシス理論、ミッシェル・アンリの哲学、和辻哲郎の思想 Cultural Philosophy, Art Philosophy, Mimesis Theory of Plato, Michel Henry's Philosophy, Tetsuro Watsuji's Thought	教授 関村 誠 Prof. SEKIMURA Makoto
	中国古代文献研究、敦煌仏教文学 ancient Chinese manuscripts, Dunhuang Buddhist literature	教授 荒見 泰史 Prof. ARAMI Hiroshi
	ドイツ=ユダヤ現代史、とくにナチ第三帝国下のユダヤ人の動向 German Jewish Contemporary History, especially Jewish Responses in the Third Reich	教授 長田 浩彰 Prof. NAGATA Hiroaki
	近代中国における民俗の変遷と文化的国民統合 Folklore transition and Cultural National Integration in Modern China	教授 丸田 孝志 Prof. MARUTA Takashi
	中国を中心とする近現代アジアに関する歴史学的考察 Modern Asian Studies ; especially focusing on China	教授 水羽 信男 Prof. MIZUHA Nobuo
	日本現代史、政治史・外交史、アーカイブズ学 Japanese modern history, Political and Diplomatic history, Archives	教授 小池 聖一 Prof. KOIKE Seichi
	メディア・スターディーズ(特に、日本のメディア)、大衆文化(特に、日本の大衆文化:宝塚歌劇,スタジオ・ジブリ,村上春樹,アニメ,ポピュラーミュージック)、人類学(特に、「愛」の概念,アイデンティティ)、音楽学 Media Studies (with focus on Japanese media) Popular Culture (in particular, Japanese popular culture: Takarazuka Revue, Studio Ghibli, Murakami Haruki, popular music) Cultural Anthropology (e.g., the concept of "love" and "identity") Musicology	准教授 GRAJDIAN Maria Mihaela Assoc.Prof. Maria Mihaela GRAJDIAN
	日本の宗教・日本の文化、哲学、比較思想 Japanese Religion・Japanese Culture・Comparative Thought and Philosophy	准教授 RIGSBY Curtis Andrew Assoc.Prof. Curtis Andrew RIGSBY
	文化人類学・社会学(宗教,移民・ディアスポラ,人種・エスニシティ),地域研究(カリブ海地域,米国) Anthropology/Sociology (Religion, Immigration & Diaspora, Race & Ethnicity); Area Studies (Caribbean Studies and American Studies)	准教授 辻 輝之 Assoc.Prof. TSUJI Teruyuki
	朝鮮文化論,朝鮮近代文学,在日朝鮮人文学 Korean culture theory, Korean modern literature, Korean resident in Japan literature	准教授 崔 真碩 Assoc.Prof. CHE Jinsoku
	日本近代文学,文学理論 japanese modern literature, literature theory	准教授 柳瀬 善治 Assoc.Prof. YANASE Yoshiharu
	中国語圏の地域研究,東アジアの日本語文学 Chinese-speaking area studies,Japanese language literature in East Asia	准教授 李 郁恵 Assoc.Prof. LEE Yuhui
	日本古代史,東アジア交流史 Japanese ancient history,History of cultural exchange in East Asia	准教授 渡邊 誠 Assoc.Prof. WATANABE Makoto
	近代イギリス社会・文化史、環境史 British modern social and cultural history, environmental history	准教授 春日 あゆか Assoc.Prof. KASUGA Ayuka
	海の歴史や政治史を中心とする近世イギリス史,植民地時代アメリカ史研究 Early modern British maritime and political history, Colonial American History	准教授 薩摩 真介 Assoc.Prof. SATSUMA Shinsuke
	19世紀アメリカ文学および文化研究 19th Century American Literature and Culture	准教授 城戸 光世 Assoc.Prof. KIDO Mitsuyo
	現代の文学作品・視覚作品を中心としたアメリカ文化研究 Studies in 20th and 21st Century American Literature and Visual Arts	准教授 的場 いうみ Assoc.Prof. MATOBA Izumi
	戦後ドイツ政治社会史,東ドイツ研究,日常生活と政治 Social History of Germany in the Postwar, East German Study, Daily Life and Politics	准教授 河合 信晴 Assoc.Prof. KAWAI Nobuharu

プロジェクト Project	専門分野 Research Theme	職名・氏名 Position・Name
文明と環境研究プロジェクト Civilization and Societal Environment Research Project	人文地理学, 環境運動の地域論・場所論, エコミュージアム研究 Human Geography, Studies on Environmental movement, Eco-museology	教授 浅野 敏久 Prof. ASANO Toshihisa
	人文地理学, 観光学, 持続可能な観光開発 Human Geography, Tourism Studies, Sustainable Tourism Development	教授 FUNCK Carolin E.H. Prof. Carolin E.H. FUNCK
	成熟経済社会の社会問題, 高齢社会・人口減少社会の諸課題, 高齢者就業, 晩婚化・未婚化現象, 地域研究(クロアチアとボスニア・ヘルツェゴヴィナ) Sociology of Economy and Society, Challenges in a Society with a Aging and Decreasing Population, Employment of the Elderly, Decline in Birthrate and Marriage Rate, Area Studies in Croatia and Bosnia-Herzegovina.	教授 材木 和雄 Prof. ZAIKI Kazuo
	現代科学・技術史, 戦時・冷戦時における軍事研究開発史 —とくに旧ソ連邦—の研究 Modern History of Science and Technology: The Cold War Science and Engineering in the Soviet Union.	教授 市川 浩 Prof. ICHIKAWA Hiroshi
	西洋文明の思想的基盤としての新約聖書研究 Study of the New Testament as basis for Western thought and civilization	教授 辻 学 Prof. TSUJI Manabu
	人の移動に関する文化人類学的研究およびフィリピン地域研究 Cultural anthropology, Migration studies, Philippine Studies	教授 長坂 格 Prof. NAGASAKA Itaru
	メキシコの教育・文化史, ラテンアメリカ近現代史 Social History of Culture and Education in Mexico, Latin-American History	教授 青木 利夫 Prof. AOKI Toshio
	ルネサンス期のフランス・イタリア文学と文化史, 出版文化論 Civilization in France and Italy Renaissance, History of books	教授 平手 友彦 Prof. HIRATE Tomohiko
	アフリカの文学, ジェンダー学 African literature, gender studies	教授 大池 真知子 Prof. OOIKE Machiko
	社会情報学, メディア論, 博物館コミュニケーション Socio-Informatics, Media Studies, Museum Communications	准教授 匹田 篤 Assoc.Prof. HIKITA Atsushi
	農村社会学, 森林と山村の社会史, 農村環境社会論 Rural Sociology, Social History, Environmental Sociology	准教授 福田 恵 Assoc.Prof. FUKUDA Satoshi
	世界経済体制の解明, グローバル・マイノリティ学の模索 The Study of Global Minority Community on World Economic System	准教授 李 東碩 Assoc.Prof. LEE Dong-Suk
	留学生教育, 在日外国人問題, 日本語教育 Foreign minority issues, International students education, JFL (Japanese as a foreign language)	准教授 河本 尚枝 Assoc.Prof. KAWAMOTO Naoe
	福祉社会学, 児童福祉論, 途上国の貧困と教育 Sociology of Education and Social Work	准教授 佐々木 宏 Assoc.Prof. SASAKI Hiroshi
	調査計量を用いた社会的不平等の生成・維持メカニズムの研究 Methodology of quantitative social research, social stratification and social mobility	准教授 白川 俊之 Assoc.Prof. SHIRAKAWA Toshiyuki
	家族社会学, 福祉社会学 The Sociology of the Family, The Sociology of Welfare	准教授 園井 ゆり Assoc.Prof. SONOI Yuri
	自動車工業研究, 産業論, 企業論, 経済政策, 経営・経済史 Auto Industry, Business, and Industrial Theory Economic Policy	准教授 山崎 修嗣 Assoc.Prof. YAMAZAKI Shuji
	インド・ネパール仏教(大乘・密教)研究, 比較宗教学 Indian and Nepali Buddhism (Mahayana and Vajrayana), Comparative Religion.	准教授 杉木 恒彦 Assoc.Prof. SUGIKI Tsunehiko
	近代ドイツ文学を中心とした思想史・社会史 Modern German Literature	准教授 SCHLARB Hans-Michael Assoc.Prof. Hans-Michael SCHLARB
	観光学, コンテンツ・ツーリズム Tourism Studies, Contents Tourism	講師 張 慶在 Lecturer JANG Kyungjae
文化人類学(途上国の社会開発, 社会政策, 福祉) Cultural Anthropology (Social Development, Social Policy and Welfare in Developing Countries)	教授 関 恒樹 Prof. SEKI Koki	

以下の教員は、複数のプログラムを担当しており、次表のプログラムのほかに本プログラムも担当しています。
Supervisor below in charge of plural programs takes charge of the program in the following table, including this program.

研究科 Graduate School	専門分野 Research Theme	職名・氏名 Position・Name
統合生命科学 研究科 Graduate School of Integrated Sciences for Life	生物多様性と環境の関わり合いに関する研究 Biodiversity conservation in relation to local benefit	教授 奥田 敏統 Prof. OKUDA Toshinori
	脳内ステロイドホルモンの生合成と機能の研究 Synthetic mechanisms and physiological functions of neurosteroids.	教授 山崎 岳 Prof. YAMAZAKI Takeshi
	生態学を基礎とした生物を保全する研究 Conservation of organisms based on ecology	教授 山田 俊弘 Prof. YAMADA Toshihiro
	陸域生態系における植物・動物・微生物の役割 Roles of plants, animals and microorganisms in terrestrial ecosystems	教授 中坪 孝之 Prof. NAKATSUBO Takayuki
	大気汚染微粒子 (PM2.5) の生体影響の解明 Effects of airborne particles (PM2.5) on living organism	准教授 石原 康宏 Assoc.Prof. ISHIHARA Yasuhiro
	アマゾン熱帯林の消失による気候変化 Climate change caused by deforestation of rainforests in Amazonia	准教授 土谷 彰男 Assoc.Prof. TSUCHIYA Akio
	森林生態系のエネルギー・炭素循環 Energy, water and carbon exchange between atmosphere and forest ecosystems	講師 戸田 求 Lecturer TODA Motomu
先進理工系 科学研究科 Graduate School of Advanced Science and Engineering	インターネットアーキテクチャ, リアルタイム映像伝送技術, ネットワークセキュリティ, ネットワーク管理, 遠隔機器制御, 情報通信工学, 統計的成長モデル, 教育と学習を支援する情報システム Internet architecture, real-time video transmission technology, network security, network management, remote appliance control, information communication engineering, statistical growth model, information system supporting education and learning	教授 相原 玲二 Prof. AIBARA Reiji
		准教授 近堂 徹 Assoc.Prof. KONDO Toru
	地球表層物質移動論 (水文地形学および生物地球化学) Hydrologic transport of earth surface materials: hydrogeomorphology and biogeochemistry	教授 小野寺 真一 Prof. ONODERA Shinichi
	地域特性を考慮した土砂災害の発生機構と防災対策 Mechanism of sediment disaster and prevention works considering local characteristic	准教授 長谷川 祐治 Assoc.Prof. HASEGAWA Yuji
	岩石風化に関する反応と物質輸送 Reaction and transport relevant to rock weathering	准教授 横山 正 Assoc.Prof. YOKOYAMA Tadashi
	火山噴火や地球内部ダイナミクスを理解する為の室内流体実験 Laboratory experiments to understand volcanic eruptions and solid earth dynamics.	准教授 並木 敦子 Assoc.Prof. NAMIKI Atsuko
地球の気候と流体系の熱力学, 非平衡系の散逸構造 Thermodynamics of the global climate and fluid systems, dissipative structures of non-equilibrium systems	准教授 小澤 久 Assoc.Prof. OZAWA Hisashi	